

2) 専門職研修

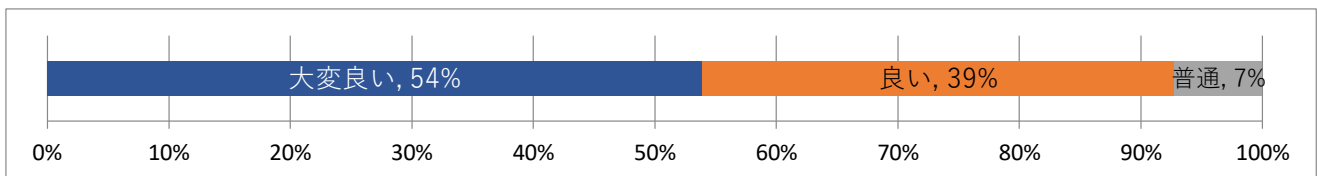
【調査概要】

講座内容調査		
調査期間	4月～3月末日まで	
開催講座数	館内	12講座
	出張	2講座
	オンライン	21講座
		706人/2311人

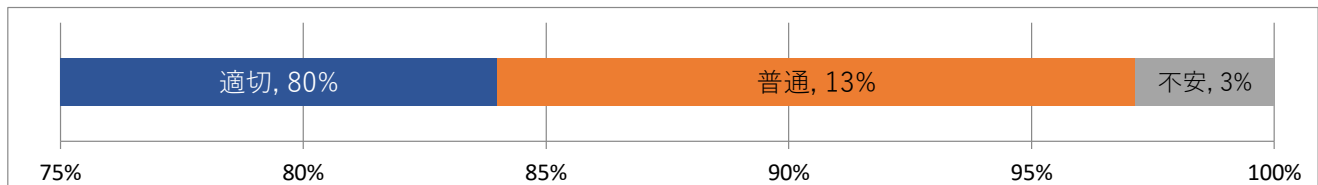
令和2年度以上にオンライン研修数を増やしたため参加人数が増加した。実技等オンラインでは実施しづらい、比較的少人数を対象とした研修は館内で参加人数を制限し、フェイスシールドなどを着用して行い出来る限り感染防止に努めた。オンライン研修1講座あたりの参加人数は平均99人で館内および出張の16人を大幅に上回った。

出張研修は、実施予定回数を上回る要望があったため館内研修とテーマが同じものは併用を提案して専門職館内研修と出張研修を合わせて5講座行った。

(1) 講座内容はいかがでしたか？



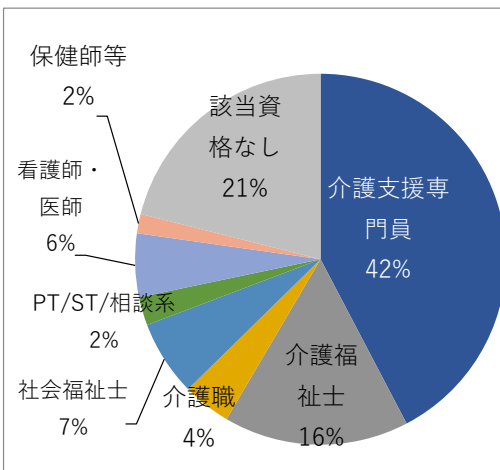
(2) 当研修で実施している感染症対策はいかがお感じですか？



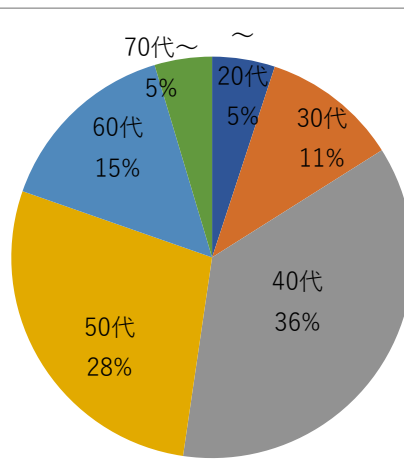
館内研修は、人数を制限し、ドアは開けて、扇風機を回しながら行い、ほぼ安心して参加していただいたが、建物の構造上窓が開かないため、不十分と感じた人がややいたようであった。

(3) 回答者の属性 (以下受付データによる受講者)

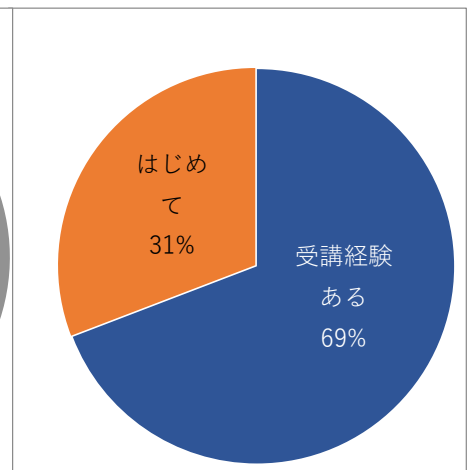
【受講者所持資格】



【受講者の年代】

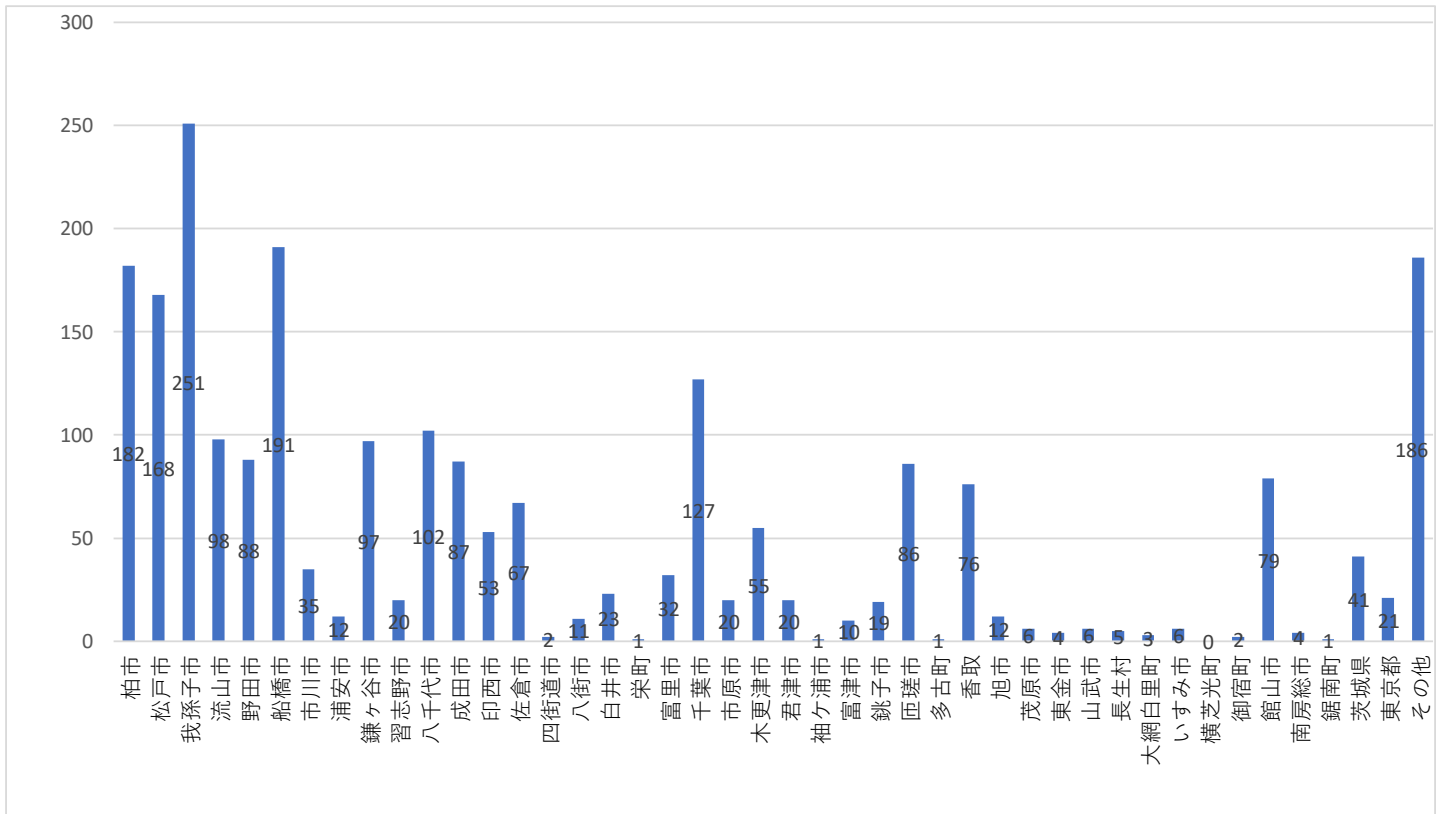


【オンライン受講歴】



例年通り介護支援専門員や介護福祉士が多かった。オンラインの参加者の職種が取り切れなかったために不明が多くなった。また、昨年まではほとんど見られなかった無資格、心理職、リハビリ職の参加が見られた。無資格者は出張研修の参加者に多い傾向だった。要因は、52人以上の参加を条件にしているため無資格者の参加を施設が呼びかけた可能性が考えられる。心理職の参加は、老年心理学ネットワークなどで広く周知し、川村学園女子大学や香川大学の教員の参加があった。

【地域別受講者数】



受講者の地域別分布は、東葛飾北部圏域の比率が減少し、他の圏域に参加者が分布した。香取海匝圏域、安房圏域、君津圏域からは4倍の参加があった。その他の県の参加者が77人で昨年度0%が3%になった。

(4)受講者からのコメント

1 食形態の選び方～食事が支える健康・生活・いのち～

4月16日

- ・利用者様が口腔準備期にある事が分かりました。
- ・食形態については職場でも根拠があいまいで不安だったので、具体的な動き方などとても参考になった。
- ・咀嚼、嚥下に関して分からないことが多かったので参加しました。非常に分かりやすく勉強になりました。
- ・管理栄養士の方のお話をきかせて頂くのは初めてで、とても勉強になった。

2 精神疾患の理解と障害福祉サービスから介護保険への切れ目のない支援について

5月13日

- ・医師の先生によるご講義を直接受けられたこと。障害サービスについて理解を少々出来たこと。障害サービスの通達について教えていただいたことは一つ覚えられました。
- ・Q&Aが興味深かった。高齢者と障害者との共生サービスについての情報がすくなく事例などがあると良かった。
- ・2人の先生から話が聞けて良かった。お二人の質問コーナーがとても参考になりました。

- 3 対人援助職のメンタルヘルス～モチベーションを保ちながら働き続けるために～ 5月27日
- ・ストレスについて、ストレスを解消することの大切さについて学べた。
 - ・利用者へと職場へのメンタルヘルスの見識を深められました。
 - ・ストレスとは何かから、対策までしれて良かった。先生の穏やかな口調がとても良かったです。
- 4 ～現場で実践～介護予防のためのレクリハ 6月17日
- ・これからすぐに実践できるレクばかりで、とても勉強になりました。
 - ・レクのアイデアが学べてよかった。真似して「加工」しようかなと思いました。
 - ・また同じ内容でも確認のために続けて欲しいです。
- 5 令和2年度介護保険制度改正と令和3年介護報酬改定の疑問に答える 6月24日
- ・介保改正(改定)に関する研修は費用が高く参加しにくいですが、無料なのにこれだけの中身はすごい。
 - ・質問について回答する時間を多く設けてくれた。
 - ・令和3年度の改定に関する内容だったため、分かりやすく確認ができた。
 - ・解釈のちがいの法令があったので修正します。
- 6 介護技術 「介護の場面における救急対応」 7月20日
- ・現場や実体験のお話を交えてくださったので、毎日利用者と接触していて、いつ起こるか分からないことが分かって良かったです。
 - ・細かい医療面が聞いて大変良かったです。
 - ・万一の時の対応が参考になりました。
- 7 障害者から高齢者へ～65歳の壁と8050を考える～ 7月20日
- ・知らない事が多く、理解までとは言えないけれど知るきっかけになった。
 - ・障害の制度について学べた。
 - ・事例を用いながらの説明で大変分かりやすかったと思います。今後相談員業務をしていく中で知識を取得できたことがとても大きく感じます。
- 8 高齢者の理解～高齢者の病気～ 7月30日
- ・高血圧や糖尿病など気をつける点などが学べた。高齢者の特徴を把握して現場で活かしたい
 - ・転倒の原因が様々からみあっていることがわかった
 - ・高齢者の誰もがなりうる病気でありながら知らない部分もあったので勉強になりました
- 9 傾聴～専門職として聴くということ～ 8月4日
- ・これまで大学院で学んできたことと照らし合わせて「傾聴」について、勉強することができました。
 - ・「傾聴」は看護の現場でも大切な技術です。改めて、スタッフへの教育をどうするか考えることができました。
 - ・コミュニケーションの1つとしてだけでなく、仕事として「聴く」ことを基本から学べた感じです。
 - ・対人援助の難しさを感じながら日々の業務にあたっています。「傾聴」も意味が深いものであり講義で学ぶものが大きかったです。ありがとうございました。きました。
 - ・日頃より、傾聴の姿勢は気を付けているが改めてアセスメントにつながる技術の一つであると認識することができました

10 看取りへの対応の充実～認知症の人の思いに寄り添う～

9月8日

- ・先生の話が聞きやすかった。わかりやすかったから。この研修を受けて看取りに対するイメージは前向きになりました。
- ・精神科の先生の話が聞けて良かった。
- ・現場からのメッセージが一番参考になります。
- ・医療側の気持ちがわかり本根で話してもらったこと。
- ・物凄く面白かったです。「よく言ってくれたー！！」と共感しまくりの研修でした。
- ・在宅での看取り。入院出来ない現実。先生のお考え。大変参考になりました。お金問題もあるあるだと思います。
- ・コロナ禍でのACP、現状を知ることができた。病院では死に目に会えないと思った方がいい、改めて納得しました。

11 時代に対応する為のケアマネジャーのリスクマネジメント

9月16日

- ・本当に時代に対応した業務に起こり得る内容でした。
- ・より具体的にすぐ実践に活かせる内容で大変参考になった。
- ・実際の現場で起こりうることを題材としていたため。

12 介護現場でのリスクマネジメント

12月16日

- ・事例をもとに話がありわかりやすかった。
- ・写真付きとかで見やすくわかりやすかった。
- ・介護労働安定センターの事例集を教えてもらい良かった。
- ・グループワークが凄く楽しく勉強になった。(2)

13 認知症があり新型コロナウイルスの感染が疑われた人への対応

3月23日

- ・コロナが落ち着いても、ぜひオンライン研修を続けていただきたいと思います。
- ・業務の最中であつたために一部のがした部分がありました。改めてアーカイブを期間限定でいいので公開してほしいです。よろしくお願いします。
- ・多少音声が聞きづらいところもありましたが、対面での研修に比べてもさほど支障はなかったと思います。
- ・最初のアクセスで、スムーズに入ることができない時は不安になるが、コロナ禍で、オンラインで受講できるのでありがたいです。

14 施設運営と離職防止

1月20日

- ・長く感じさせない講師の方の進め方。特に後半は興味がありました。
- ・組織で働く中で自己覚知やいろいろな欲求について考える事が大事だと気付く事ができた。
- ・どうしても固定観念になってしまう傾向があるので研修等で色々な考えを吸収していきたい。

15 高齢者虐待防止「これって虐待？」

1月25日

- ・質疑応答の時間が多く参考になった
- ・事例をふまえながらおはなしがありイメージができました。
- ・概論的なお話が多かった。「これって虐待？」というテーマだったので、各論的なお話だと私が勘違いしていたのかもしれませんが。具体的な事例から周囲の支援方法を学びたかった、と思いました。
- ・質問に対する先生の回答が聞けたこと。

16 ケアマネジメント ～新しい居宅サービス計画書について～

2月17日

- ・経験が浅く具体的な事例を出して下さり、理解しやすかったです。本日AM要支援1独居HOTの方に利用票、方針書持参し介護保険、療養保険コストマネージャのことをすごく身にしました。利用者の収入支出も考慮する必要があることを再認識しました。
- ・先輩や同僚に教えられたとおり漠然と記入していた。講師の話が実践的でわかりやすかった。
- ・ケアプランや支援記録の取られ方丁寧に教えてくださった。

17 介護職のための感染症の理解と対策、新型コロナウイルス感染症を含む

2月22日

- ・メディア情報と重ね、再認識できた。
- ・質問コーナ分かり易かったです。
- ・今一番正しく知りたい内容でした。
- ・難しいこともありましたが、コロナ(オミクロン)のことが知る事ができました。
- ・もう少しゆっくり話して頂きたかった。ウェブ不具合は仕方ないでしょうか？

18 認知症で独居の方への支援

2月25日

- ・認知症について改めて学習できた。
- ・事例を通して具体的な対応を講義頂きわかりやすかった。又コロナ禍の現状に合わせた内容の事例も取り上げて頂き大変参考になりました。
- ・ヘルパーの立場での独居高齢者の支援の内容がわかりやすかった
- ・陽性者の支援について、最近全く同じことがあったので再確認ができた。
- ・コロナの陽性反応が出た方の対応が聴けて良かったです。
- ・陽性者の支援について、最近全く同じことがあったので再確認ができた。
- ・地域の中でも独居で認知症の方に対する支援について苦慮しているケアマネジャーなどが多いため、今回の研修は有益でした。
- ・傾聴とはただ単に話を聞くだけではなく相互理解をするためのコミュニケーションだということ。感じます。